

全国建設業協同組合連合会 群馬県建設事業協同組合

小林工業株式会社

緩やかな連携が 人材育成と環境活動を つなげています

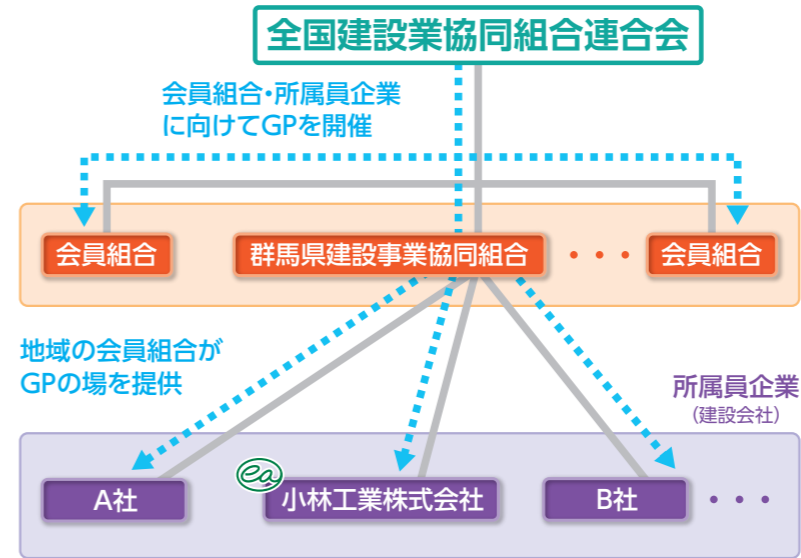


全国建設業協同組合連合会
会長 青柳 剛

全国建設業協同組合連合会（略称：全建協連）は、全国の41の事業協同組合（連合会）を会員とし、「人を大切にする建設業」を目指した協同組合活動を行っています。業界として必須とされる環境への取り組みは、教育情報事業の一環として展開し、各会員組合と連携することにより、所属員企業のエコアクション21認証・取得を支援しています。群馬県建設事業協同組合（略称：群馬協組）は、所属員企業と全建協連をつなぎ、エコアクション21認証取得の勉強会を開催し、所属員企業の環境に対する行動意識を高めるための架け橋になっています。そして、この勉強会に参加したのが、小林工業株式会社です。開催された無料勉強会の参加をきっかけに認証を取得、活動一年目にしてその活動事例を全国大会で発表するまでに成長した企業です。個社を越えた「緩やかな連携」が、地球に優しい建設企業を増やし、業界全体のイメージアップに貢献しています。



小林工業株式会社
代表取締役社長 小林 要一



全国建設業協同組合連合会 (全建協連)

〒104-0032
東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館4F

群馬県建設事業協同組合 (群馬協組)

〒371-0846 群馬県前橋市元総社町 2-5-3
【EA21 認証・登録番号】
0008644 (最新の環境活動レポートは
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0008644.pdf> を
ご覧ください)

小林工業株式会社

〒371-0024 群馬県前橋市表町 2-11-8 (本社)
【事業内容】 総合建設業
【EA21 認証・登録番号】
0010194 (最新の環境活動レポートは
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0010194.pdf> を
ご覧ください)

全国建設業協同組合連合会 / 群馬県建設事業協同組合

環境は時代の要請。より多くの会員組合および所属員企業が環境問題に取り組めるよう「エコアクション21認証・取得支援プログラム」を実施しています

低コストで認証を取得しやすいのがエコアクション21の特長です。全建協連では、教育情報事業の一環として「エコアクション21認証・取得支援プログラム」を実施し、会員組合の協力の元、認証取得のための勉強会を年4回無料で開催し、取得を目指す会員組合・所属員企業をサポートしています。さらに、全建協連の事業のひとつである総合補償制度では、認証取得企業に対して5%割引を実施し、取得後のメリットを創出することにより、所属員企業が認証取得を前向きに検討できる環境を整えています。

地域の会員組合がエコアクション21の勉強会を開催することにより、地域密着性も高く、「参加しやすい」と好評を得ています。加えて建設業に特化した内容で実施しているため、受講する所属員企業にとっては、有意義な勉強会になっていると思います。さらに、昨年度より実施されたEco-CRIPを新たに採り入れることでマンツーマン形式の勉強会スタイルを可能とし、少人数の参加企業しか集まらない会員組合でも、勉強会の開催を容易にしました。

導入

地元群馬で組合主催の勉強会に参加できたことが始まりです

私どもの建設業は、環境問題に深く関わっていますが、東日本大震災を転機に環境への意識や貢献について、社内でも話題に上るようになりました。ただ、何をどうすればよいのか、正直まったくわかりませんでした。そうしたなか、組合主催でエコアクション21認証・取得のための勉強会を実施していただいたことが、とても大きかったと思います。告知も丁寧で、何よりいつもお世話になっているという安心感、地元ならではの親近感も大きかったように思います。自分たちの力で一から始めるのでは、なかなか難しいのではないのでしょうか。

身近なことから始める

「身近なことから始める」をキーワードにして、社員ひとりひとりが省エネルギー・省資源化に高い意識を持ち、日々環境活動に取り組んでいます。こうした、形式的ではなく実務的なところもエコアクション21を選んだ理由のひとつです。私どものような小さな組織がひとつにまとまるためには、何かシンボリックな、ツールのなものがきっかけだったりするのですが、エコアクション21はそれにぴったりのしくみでした。

エコアクション21は「見える・考えるためのツール」環境活動の見える化が職員・社員のモチベーションにつながるのにはエコアクション21の効果と言えるのではないのでしょうか

エコアクション21は「見える・考えるためのツール」。エコアクション21による環境活動の見える化は、職員や社員のモチベーションにつながっていると思います。みんながバラバラではなく、ひとつにまとまることのできるもの——そういうツールでもあるエコアクション21を、多くの会員組合、所属員企業が取得することで、企業の求心力も向上するのではないのでしょうか。エコアクション21はそうしたツールとして大変有効だと考えています。

群馬県には県の推進する「群馬GS認定制度」がありますが、その認定が容易であるため、企業の差別化にはエコアクション21が有利という意見もあります。また、群馬協組自身がエコアクション21認証を取得することは、環境問題の解決

のみならず、取得した所属員企業の価値や評価を向上させ、企業の経済活動への効果・貢献が見込まれると考えています。さらに、全建協連が行ったアンケートでは「環境活動が会社のイメージアップにつながった」「環境に対する社員の意識が向上した」の声も多く集まり、エコアクション21の波及効果に驚いています。



効果

見える化から見せる化へ企業アピールにもつながっています

環境レポートを提出するというエコアクション21のルールは、社会貢献や環境に配慮した取り組みを、外部の方に知ってもらうきっかけになりました。それが企業イメージの向上、企業のブランド化につながり、さらに社員へとフィードバックされることで活動の励みになるという、とてもいいサイクルができてきたと思います。環境活動を可視化した「本業に関わる目標シート」をきっかけにエコアクション21全国大会に招待され、全国の企業の皆さんの前で自分たちの活動事例を発表できたことは、とても誇らしく、「少しは目立てたかな?」と感じています(笑)。

日々の仕事のなかでひとりひとりを成長させ、同時に業務改善や経費削減などの環境経営につなげていけるのが、エコアクション21に取り組む大きなメリットだと思います。

社員全員が同じ目標に向かって活動する、自分たちのできることをする、他の社員がやっていることが見えるなど、エコアクション21の特長的なしくみやメリットについても、エコアクション21で環境活動を始めてから気づかれました。



「やりっぱなし」からの脱却として認証取得後のフォローアップができればいいですね 困難な課題ですがこれから挑戦していきたいです

これまで全建協連では勉強会を実施してエコアクション21の認証・取得を推進してきましたが、反面、勉強会までのサポートに終わってしまい、その後のフォローアップが不十分だったと感じています。人的にも費用的にも厳しい状況ですが、全国からエコアクション21の認証を取得された所属員企業に集まっていたり、研修・懇親の場を提供できたらいいなと思っています。これは全国にネットワークを広げる、全建協連の強みでもあり、そうしたフォ

ローが、県および地域を越えた所属員企業の連携、横のつながりを生むきっかけになればと考えています。人を大切にして育てていくためには「やめないこと」、「これからも仕掛け続ける」ことが大事なのだと思います。所属員企業の環境活動が継続、活性化され、業界全体のイメージアップが図れたらうれしいですね。

課題

ITで省エネ・仕事の効率化を実現、環境活動へと昇華させていきたい

今までは設備投資を含めたハード的な対応がメインでしたが、今後やりきってしまうことも考えられます。これからはハードからソフトへ、これまで疎くて、どことなく敬遠していたIT化についてももしっかり勉強して、積極的に採り入れていこうと考えています。具体的には仕事面でのソフト的な効率化、たとえば書類自体を不要にする、今まで5工程だった業務を3工程にするといったことを、ITを使った業務改善で実現して、それを環境活動へと昇華していければ…今、活動の未来をそうイメージしてたりします。

社員の行動指針のひとつに「私は将来のビジョンを描き、常に向上心を持って自己改革に取り組みます」とありますが、環境活動においても、IT化を含めたビジョンをしっかりと定めて、向上心を持って当たっていきたく考えています。群馬県の所属員企業では、エコアクション21の認証取得企業が21社とまだ少ない状況と伺っています。全国大会での事例発表を励みに、協会の中でも環境配慮に進んだ企業、先駆的な企業として、モデルケースになれるように頑張っていきたいと思っています。